

生徒の実態 ・食事のファーストフード、インスタント化 ・朝食の欠食率の高さ ・孤食化の傾向 保護者・地域の実態 ・食を通じた団欒の減少 ・核家族化の傾向 ・豊富な海産物や農産物の産地
--

学校教育目標 志を高く持ち、自他を尊び、なかまとともに歩む生徒を育成する
--

食育推進基本計画 ・社会で生きる実践的な力の育成 ・豊かな心と健やかな体の育成 ・信頼される学校づくりの推進 ・地域全体で子ども達を守り育てる体制づくりの推進 ・高知らしい生涯学習社会の実現

【食に関する指導でめざす子ども像】 ふるさと高知の食文化・食材に学び、感謝して、生涯にわたって豊かな心で健全な食生活をおくる生徒 【食に関する指導目標】 ①食事の大切さや楽しさを理解させ、規則正しい食事の実践力を育てる。 ②心身の健康に望ましい栄養や食事のとり方を理解させ、自己管理能力を育てる。 ③食物の品質や安全性についての正しい知識を持たせ、主体的な判断力を育てる。 ④食物を大事にする心や、食物の生産などに関わる人々への感謝の気持ちを育てる。 ⑤食事のマナーを身につけさせ、食事を通じて好ましい人間関係を築く力を育てる。 ⑥高知の産物や食文化、食に関する歴史などを理解させ、ふるさとを愛する心情を育てる。
--

保育園 ・保小中連携協議会の取り組みを通して、生活の様子を知る。	小学校 ・保小中連携協議会を通して、小中の食の実態について交流を深める。
--	--

各学年の食に関する指導の目標		
1年生	2年生	3年生
・毎日、規則正しい食事をとることができる。 ・自分の課題を見つけ、望ましい食事の仕方や生活習慣を理解し、自らの健康を保持増進しようとする。 ・高知の特産物、食文化の歴史と自分の食生活との関連を考えることができる。	・環境や資源に配慮した食生活をしようとする。 ・身体の発達に必要な栄養や食品に含まれる栄養素の種類と働きを知り、成長期の栄養について理解する。 ・生産物や自然の恵みに感謝し、食品を無駄なく使って調理することができる。	・生活の中で食事が果たす役割や健康と食事との関わりを理解し、一日分の献立を考えることができる。 ・食品に含まれる栄養素や働きが分かり、品質の良否を見分け、適切な選択ができる。 ・食品の生産、流通、消費について正しく理解することができる。

		1期(4・5・6月)	2期(7・8・9月)	3期(10・11・12月)	4期(1・2・3月)
特別活動	給食の時間 ○食に関する指導 ●給食指導	1年 ○朝食の大切さを見直そう ●給食時間の過ごし方を考えよう(準備、片付け、手洗い等) 2年 ○学習と朝食の関係を考えよう ●給食時間の過ごし方を考えよう(準備、片付け、手洗い等) 3年 ○一日の活動(運動)に適した朝食を摂れるようになろう ●正しい食事マナーを身につけよう(会食の環境・会話)	○夏の栄養と健康について考えよう ●食事への感謝の気持ち(食前後のあいさつ、食材) ○夏の栄養と水分補給について考えよう ●給食の意義を考えよう(午後の作業効率と昼食) ○食物の品質や安全性(賞味期限や添加物など)について考えよう ●歯の健康と食事について見直そう(食後の歯磨き)	○郷土食を見直して、その良さを知ろう ●健康に必要な食事の摂り方を考えよう(咀嚼の効果) ○冬の健康と日本食や郷土食の関係を知り、旬の食材を知ろう ●食事への感謝の気持ち(食材、食べ残し) ○感染症の予防と日本食や郷土食の関係を知ろう ●自己の食事の課題について考えよう(偏食、欠食、孤食)	○冬の健康に必要な食事を考えよう ●正しい食事マナーを身につけよう(食器・はしの使い方) ○スポーツと栄養について考えよう ●正しい食事マナーを身につけよう(人を不快にしない食事の仕方) ○3年間を振り返り、将来に渡る正しい食習慣を身につけよう ●卒業後の昼食の課題を考えよう(外食・弁当)
	学級活動	基本的な生活習慣の見直し	夏の健康と食事について	日本食(郷土食と健康について)	一年間の生活を振り返ろう
	学校行事	・入学式、始業式 ・身体測定	・中学校総合体育大会 ・終業式、始業式 ・体育祭	・修学旅行 ・文化発表会 ・校区一斉津波避難訓練 ・小学生一日入学 ・終業式	・始業式 ・立志式 ・卒業式、修了式
	生徒会活動	・新入生歓迎会 ・生徒総会	・中学校総合体育大会社行式 ・体育祭	・文化発表会 ・一日入学 ・生徒会役員選挙	・生徒会役員認証式
教科との関連	家庭科	食に関わる学習計画 1 私たちの食生活 (1) 私たちの食生活の実態 (2) 私たちに必要な栄養と食品 (3) 食品と栄養の関わり 2 食品の選択と調理 (1) 食品の選び方 (2) 食材研究と調理 3 より良い食生活をめざす (1) 家族のための食事づくりの計画 (2) 家庭での食事づくり (3) より良い食生活をめざす 4 より豊かな食生活			
	保健体育	・心身の発達と心の健康 ・健康と環境 ・健康な生活と病気の予防 ・生活習慣病とその予防			
	理科	・植物の生活と種類 ・動物の生活と生物の進化 ・生命のつながり ・自然界のつながり			
	社会	・世界のさまざまな地域 ・日本のさまざまな地域・歴史の移り変わりを考えよう・国際社会に生きる私たち			
	道徳	・望ましい生活習慣 ・奉仕する心 ・思いやり ・感謝の心 ・家族愛 ・郷土愛 ・自然への畏敬 など			
総合的な時間の学習	・生命の教育 ・災害時の食事(避難所での生活)・戦時下の食事(平和学習)				
地場産物の活用	地域の特産物について、家庭科の調理実習、ふれあい教室(料理教室)等で活用				
個別相談指導	個別相談活動(アレルギー等の家庭からの申し出、定期健康診断、日常の食生活の様子などの結果による個別面談等での個別指導)の実施。栄養教諭との連携と校内支援委員会・生活指導委員会による指導体制の構築。				
家庭・地域との連携	・学校便り ・保健便り ・学級便り ・地元農家との連携(地産地消) ・食に関する講演会 ・「早寝・早起き・朝ご飯」の大切さの啓発				